

# 会計人の教養

3

2018 MARCH



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

## 朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p><b>進行役</b>：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</li> <li>★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</li> <li>★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</li> </ul> <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

17 16 15 14 13 12 10 9 7 6

土 金 木 水 火 月 土 金 水 火

蜂  
ヒートアイランド現象  
白神山地  
消費税  
税と社会保障  
読書のすすめ  
キレル若者  
グリコーゲン  
水俣条約  
スポーツ庁

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

人より遅くてもまわらない。  
自分のペースで確実に。

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

# 2018 MARCH

平成30年 弥生[やよい]

第4巻3号(通算33号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

日本の複数ある省庁の中の一つで、スポーツ行政をまとめるスポーツ庁があります。

平成二十三年に制定されたスポーツ基本法の中に、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利であると掲げています。このことを実現するべく、国、地方公共団体およびスポーツ団体などの関係者が一体となつてスポーツ立国の実現を目指しています。

スポーツ庁では、子どもの体力向上のため、学校体育や運動部活動の見直し、またスポーツによる地域の活性化、さらにはスポーツを通して国際交流など様々なことに目を向けて政策を実施しています。

今月には、二十歳から四十歳のビジネスパーソンを対象に、歩くことに焦点を当ててスポーツに取り組むきっかけを促す、スポーツをする時間の取れない働き盛り世代に対する環境整備も目指したプロジェクトが実施されます。

みなさんも、学習の息抜きにスポーツをすることで、学習だけでなく、体力の向上にも励んでみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆スポーツを楽しみましょう。

## 水俣条約

みなさんは、水俣病をご存知でしょうか。水俣病とは、熊本県水俣湾<sup>みなまのわん</sup>周辺で一九五六年五月に、新潟県阿賀野川<sup>あがのがわ</sup>流域で一九六五年五月に発見されたものです。

症状としては、四肢<sup>ししまたん</sup>末端の感覚障害、運動失調、中枢<sup>ちゅうすうせい</sup>性聴力障害などがあります。水俣病の原因は、ビニール製造に必要な原料（アセトアルデヒド）を生産する際に発生したメチル水銀が原因です。メチル水銀が工場廃水と混じって海に流れ、魚や貝によつて人の体に入ってきたのです。

最初のころは漁師の家庭に異変が起き始めました。その後、一般家庭でも水俣病患者が増え始めたのです。

水俣病のような健康被害や環境破壊を繰り返さないために「水銀に関する水俣条約」が結ばれました。この条約は、水銀および水銀を使用した製品の製造と輸出入を規制する国際条約です。

私たちが生活する中で、たくさん規制があります。しかし、規制するということは過去に様々な問題が起こったからです。私は、水俣病のことを学んでたくさん気づきがありました。これからも、水俣病のような様々な問題について、自分自身の問題と捉えることが大切だと思います。

今日の心がけ◆水俣病について学びましょう。

グリコーゲンとは、グルコースというエネルギー源の集まりのことをいいます。グルコースはブドウ糖と呼ばれており、血糖として動物の血液中を循環しています。そして、そのグルコースの貯蔵庫といわれるのがグリコーゲンです。このグリコーゲンが私たち人間の体に与える影響は、疲労回復、集中力の向上、血糖値の調整の三つだといわれています。

私たちは、普段の生活で長時間の学習を行っています。そのため、体には多くの疲労がたまり、学習に対する集中力にもむらが出てきます。だからこそ、グリコーゲンを多く含むカキ、ウニ、ホタテなどの食品を食べることが大切です。

これらを摂取することで、疲労しにくい体を作ることができ、しっかりとエネルギーを補うことで脳を活性化することができます。また、蓄えられていたグリコーゲンが分解され糖となり、血液中に放たれ血糖値を調節することで、動悸や手足の震えなどの症状も抑えることができます。

みなさんも、グリコーゲンを摂取して、健康な体を維持しましょう。

今日の心がけ◆グリコーゲンを摂取しましょう。



「キレル」とは、怒りの感情が我慢の限界を超えて露<sup>あら</sup>わになる様子を表す言葉です。それが、感情表現にとどまらず、刑事事件にまで発展したというニュースを見たことがあると思います。

かつてキレルと言えば若者というイメージでしたが、近頃は若者よりも中高年の世代がキレルといわれています。JRなどの調査では、発生したトラブルの加害者は中高年が六割を超えるという結果が出ています。

これは、かつてキレルといわれていた若者が大人になったこと、終身雇用の崩壊、IT技術の進歩など、仕事スタイルの変化によるストレスの増大、ストレス解消のためのコミュニケーション不足が理由にあるようです。

私たちも、「キレル若者」になりうる可能性があります。そうならないためにも、ストレスを抱え込まない方法を知り、こまめに発散して気持ちを整理することが大切です。

常に自分が何をしているかを冷静に捉え、ひと呼吸置いてから行動に移していきたいですね。

今日の心がけ◆自分を客観的に見つめましょう。

私たちは、朝礼の前に読書をしています。私はこの時間を通して、読書をするこの大切さを改めて感じています。

それは、読書をする人としていない人では、見える世界が全く違うといわれているからです。先日、新聞の中に、読書時間の調査の記事が掲載されていました。それによると、なんと大学生の五十三パーセントが「読書ゼロ」と回答したとの調査結果でした。

特に、アルバイトをする学生に、読書時間ゼロが多いとありました。教育評論家の尾木おぎさんは、「学費が高く奨学金の返済もあり、多くの学生はアルバイトで本当に忙しい。卒業のための時間すら不足しているのに、読書どころではないだろう。だが、電子か紙の本かは別にして、日常的な読書は絶対に必要だ。動画やゲームと異なり、文章だけで意味を理解しようとする際、脳は過去の体験と重ねてイメージをふくらませる。そこで鍛えられる想像力は、これからの時代、すべての学びで役立つ力になる。」と述べています。

私は、本を読むことで、自分にはない価値観、思考法、知識を手に入れ、様々な話題に対応することや、文章力や語彙力のアップにも繋げることができると感じています。みなさんも、大人になって後悔しないために読書をしてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆読書をする習慣を身につけましょう。

私たちが生活を送る中で、税金は切っても切り離せない存在です。これは、国民の三大義務「教育の義務」「勤労の義務」「納税の義務」に定められており、国民全員に平等に負担が求められます。

その金額は、一年間で六十兆円ほどになり、公債金などと合わせると、国の歳入は約百兆円になります。集められた私たちの税金は、どのようなことに使われているのでしょうか。

国の歳出のうち最も多くの割合を占めるのが、社会保障関係費です。少子高齢化が取沙汰とりさたされる日本において、この金額はこれからさらに膨らんでいくことが明らかになっています。

国はこの事態に対応すべく、二〇一九年に消費税増税を行う方針を打ち出しました。この増税に関しては、いまだ様々な議論が行われています。

次の世代を担う私たちにとって、これは人ごとではありません。ニュースや新聞を読んで政治への関心を高め、自分なりの考えを持つことが大切なことだと思います。

今日の心がけ◆新聞を読むことで政治への関心を高めましょう。

みなさんは、消費税の引き上げについて、関心を持っていますか。

当初は二〇一七年四月に十パーセントへと引き上げられる予定でしたが、選挙と景気への影響、また、地震の影響もあり、二〇一九年の十月に延期になりました。

この消費税引き上げの大きな理由としては、高齢化で増え続ける年金や医療・介護にかかる社会保障費用、子育て支援のための財源を増やすためです。

消費税を上げることによって「税収が安定する」、「広く課税できる」、「脱税されにくい」などのメリットが挙げられます。しかし、「消費者の購買欲が減る」、「中小企業の負担が大きくなる」、「駆け込み需要の反動が起こる」などのデメリットも考えられます。

私たちは会計を学んでいます。そして、当校では消費税などの税法の学びも行います。私たちの学びは、社会で生きていく上でとても重要なものです。そのためにも、学んだことを社会の中でも活かしましょう。

今日の心がけ◆学んだことを社会でも活かしましょう。

白神山地は、青森県の南西部から秋田県の北西部に広がっている標高千メートル級の山岳地帯のことをいいます。

人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ天然林が世界最大級の規模で分布していることが評価され、平成五年に日本で初めてユネスコ世界遺産に登録されました。

その歴史は古く、約八千年前には既にブナ林が形成されていたことが分かっています。一度は伐採計画もありましたが、その美しく、豊かな自然を守ろうと、保護する動きが高まり、その後、ユネスコ世界遺産に登録されました。

白神山地は、立入禁止でないため登山できるといって魅力があります。また、「神々の住む森」といわれるほど神秘的で美しい大自然を味わうことができます。このような自然が現在も残っているのは、保護活動を行っていたからです。

日本が世界に誇るべき大自然を次世代に受け継ぐためにも、その魅力を知り、伝えていくことはもちろん、保護活動を続けていくことも大切なことではないでしょうか。

今日の心がけ◆環境を大切にしましょう。

みなさんは、ヒートアイランド現象をご存知ですか。これは、都市部の気温がその周辺の郊外部に比べて高くなる現象のことです。

その原因として、アスファルトやコンクリートの増加、建築物の増加、そして、みなさんがよく利用する自動車やエアコン、家電製品などの人工的な排熱が影響しています。

このように、都市化の進展に伴ってヒートアイランド現象は顕著になりつつあり、住民の生活や熱中症などの健康に多大な影響を及ぼしています。現在は、その対策として、屋上緑化や校庭の芝生化、雨水などの水分を蓄えておくことのできる保水性舗装などの推進が行われています。

また、ヒートアイランド現象を防ぐためには、節水やエコバックの使用、家電製品などの節約が大切です。

私たち一人ひとりが意識を持つて取り組むことが、環境問題解決への糸口になるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆一人ひとりが省エネルギーに取り組んできましょう。

みなさんは、蜂に対してどのようなイメージを持っていますか。怖い、危ないといったマイナスのイメージを持っている人も多いのではないのでしょうか。

しかし、実際は私たちの生活を支えてくれている蜂もいます。例えば、みなさんの食べるはちみつは、ミツバチが働いてくれているおかげで食べられるのです。

ミツバチは、集団生活を行います。働き蜂は全てメスで、巣の中にオスは一割ほどしかいません。働き蜂は、羽化してすぐに巣の掃除を始め、その後、幼虫の世話、巣の見張り、<sup>かみつ</sup>花蜜の収集など行い、はちみつが作られます。

一匹のミツバチが一生をかけて集めてくるはちみつの量は、わずか小さじ一杯ほどしかありません。このように、たくさんのミツバチが働いてくれるおかげで、私たちは、はちみつを食べることができているのです。

蜂と聞くと怖いなどのイメージがありますが、私たちの生活とミツバチは、密に関係していることを忘れないようにしましょう。

今日の心がけ◆ミツバチに感謝しましょう。